



ROTARY CLUB OF YATSUSHIRO MINAMI BULLETIN

◇創立 昭和51年3月9日 ◇承認 昭和51年3月18日 ◇日本RC承認順位 1305番 ◇RIクラブNo.: 14933

◇例会日 毎週火曜日 ◇例会場 八代グランドホテル 八代市旭中央通り10 年度No.14

会長 神 蘭 敬八郎 幹事 里 順 一 編集者 豊 岡 宏 士 令和4年10月25日発行



イマジンロータリー IMAGINE ROTARY

2022-2023年度
RI会長
ジェニファー・ジョーンズ
Jennifer Jones

10月18日例会（第2182回）記録

司会 松嶋SAA

四つのテスト 唱和

歌 国歌「君が代」

Rソング「それでこそロータリー」

会長の時間 神蘭会長

ロータリアンの皆様本日もご出席ありがとうございます。

今週も先週に引き続きポリオについてお話しします。

10月24日は世界ポリオデーです。国際ロータリーでは、ポリオに対し改めて根絶運動の強化を図っています。世界では様々な活動が行われていますが、日本においてもRI2750地区（東京）のガバナーエレクトの宮崎陽一郎氏が、「エンドポリオ」を全国に訴えるため自転車による全国縦断サイクリングを計画されました。宮崎ガバナーエレクトは10月1日に北海道の宗谷岬を出発されております。

11月1日の例会	11月8日の例会
インターアクトについて 山本委員長	ロータリー財団月間 鶴田ロータリー財団委員長
VSOP今年度累計	111,122円

九州には、10月19日に久留米市、10月20日に八代市に入られ、10月23日に鹿児島県佐多岬で完走となります。

第2720地区として堀川ガバナー、膳所ガバナーエレクトより依頼があり、熊本第5グループで宮崎ガバナーエレクトを歓迎することになりました。

内容としては、10月20日14時30分から15時に八代市に入られ八代宮で立石ガバナー補佐・各クラブ4～5名でお迎えます。16時30分より八代ホワイトパレスで宮崎ガバナーエレクト及び随行の方を膳所ガバナーエレクト・熊本第5グループの会員で食事会を行い歓迎します。翌

出席報告			柳口委員長		欠席会員名		マークアップ済会員名	
本日の出席	会員総数	50名	出席率	山口・宮田・松岡・湊田・稗田・沼田・中道・富・園川・坂本・續・川崎・岡村・大野・稲本・有野	計	16名	里 (10/11 理事会)	
	出席会員数	33名						
	当日分マークアップ済会員数	1名						
	計	34名	68.00%					1名
10/4の修正	10/4の出席会員数	33名	前回補填会員名	守田 (10/6 八代東)	計	1名		
	補填会員数	1名						
	計	34名					69.39%	
昨年	月出席会員数	名	%				計	1名
他出席会員名							計	名

朝、ホテルで出発時にお見送りを行います。

八代南ロータリークラブも宮崎ガバナーエレクト「エンド・ポリオ・サイクリング・チャレンジ」を応援し、ポリオを永久に世界からなくすという全世界の子どもとの約束をロータリーが果たす日は、また一日近づきます。

八代南ロータリークラブはV・S・O・Pプロジェクトでポリオ根絶へ多大に貢献を行っています。このプロジェクトを継続、拡大していきましょう。

本日の例会は、会員卓話で永野会員より卓話を頂きます。宜しくお願い致します。

幹事報告 谷川副幹事

1. 熊本県青少年育成県民会議より、グローバルジュニアドリーム事業における特別協力について
2. ロータリー米山記念奨学会より「ハイライトよねやま」

スマイルBOX 鮫島会員

野尻会員：第35回やつしろ全国花火競技大会、矢住会員のご依頼で映像撮影をさせて頂きました。感謝の気持ちを込めてスマイル致します。

山本会員：花火大会きれいでした。矢住会員の席で家族がよるこんで見ました。ありがとうございました。

矢住会員：枯葉散る夕暮れは～♪

八代全国花火競技大会、3年ぶりに開催されました。無事に最高の天気にも恵まれ、美しい花火が八代の未来へ花開きました。感謝を込めて!!

神薊会長：永野会員、本日は卓話ありがとうございます。楽しみにしています。

緒方会員：花火大会では、稗田会員（鰻新）に大変お世話になりました。お蔭様で最初から終わりまで矢住会員の美声を聞きつつ鰻づくしでゆっくり花火を観賞できました。来年も鰻新さんで、観賞しようかと家族で考えてます。

稗田会員、本当に有難うございました。

(以上6,000円 累計210,000円)

インターアクトスマイル 鮫島会員

宮川・山本の両会員：インターアクトクラブの活動資金としてスマイルします。

(以上2,000円 累計62,000円)

米山記念奨学金委員会 鶴田委員長

氏名	寄付金	氏名	寄付金
久原会員	3,000円	山本会員	2,000円
小林会員	3,000円	西会員	2,000円

合計 10,000円

卓話 県内・八代地域の経済情勢について

永野会員

○価格上昇時代を迎え

ここまでは、世界の大きな動きなのですが、資源高や円安を背景に、色々な業界での値上げのニュースを聞かない日は無いというような毎日ではないかと思えます。会員の皆様に置かれましても、値上げについて頭を悩ませていらっしゃる方がおられると思います。

つい先日、「価格上昇時代のマーケティング」という本を購入し、読み終えたのですが、全てがそんなにうまく行くはずはないと思う部分があるものの、考え、実行してみる価値があるのではないかと思いましたので、その書籍の大筋をご紹介します。著者は「小坂裕司さん」と言う方で、2000年から「ワクワク系マーケティング実践会」というものを主宰し、全国の約1500社が参加しているそうです。成果事例は1万を超えており、2017年からはこの取組みが経産省の認定を受けています。

今回読んだ本は、今年の8月に刊行されたもので、資源高や円安といった背景が織り込まれています。序章、1～7章、終章で構成されており、本文が200ページ程度とコンパクトで、読みやすい構成になっています。

序章では、「価格の崩壊」と、「値上げの仕方を忘れた日本人」、第一章では、「価格アップを過剰に恐れる日本人」、そこに至るまでの、ここ数十年の流れや背景。第二章では「安さこそが価値」からの脱却、第三章では「価格は価値」に従う、第四章、五章では、「値付け」と「値上げ」の作法について。第六章では「マスタービジネス」への転換、第七章では「値決め感性」の磨き方と続き、終章では、「存在意義」こそが価格の原点であると締めくくります。

商圏人口が800人足らずの過疎の町にある小規模スーパーや、小規模な電器店、飲食店、紙卸業、お茶屋さん、お菓子屋さんなど、B to CだけでなくB to Bの事例なども紹介されて

おり、興味深く読んで頂けるのではないかと思います。

その中で一番心に残っているのが、「欲しいものがない時代に価値を伝える存在としてのマスターである事を知る」という部分でした。

マスターとは、所謂「師匠」の事ですが、ご商売をされている方は、皆さん其々の商売のマスターであり、「皆さんにとっては当たり前の情報でも、お客さんにとっては知らない事、重要な事が沢山ある」という事を認識し、それをお客様に伝える事がマスターの役目であり、そしてマスターとして価値を伝える事が適正な対価を受け取る事に繋がるとありました。

思い返してみれば、私が大学生の頃、吉野家の牛丼の並はたしか400円でした。消費税が内税だったかどうかは覚えていませんが、500円玉でおつりがきた事を覚えています。では今の価格はいくらでしょうか？実は税別で408円なのです。確かに省力化や牛肉に係る関税の低下なども要因ではありますが、30年以上ほぼ価格が変わっていないのです。また先日ニュースを見ていましたら、小学生と思しき娘さんとスーパーで買物をしている親御さんに「最近の値上げはどうですか？」とレポーターがインタビューしていました。その親御さんの返答は、「家計に響きますね、毎日使うものですから」と言うものでしたが、そう言いつつ一緒に来ている娘さんに、「ディズニーランドに行く回数が減るとイヤだよ」と言っていました。消費者の節約は、その多くが予算配分の中での節約であり、自分にとって意味あるものに消費するために、配分の中で節約・切り詰めを行っているという事が、この本にも書いてありました。

前段で申しましたが、資源高や円安基調が当面継続すると想定されている現環境にあっては、

価格設定・値付け・値上げは喫緊の課題と考えます。お読みになって見られると、何かしら参考に出来る部分があると思います。最後はお勧めの本の紹介になってしまったようですが…。

○24年ぶりに円買い介入実施

9月22日に日銀の金融政策決定会合があり、日本政府が急速に進む円安に対応するため、24年ぶりに円買いドル売りの介入を実施しました。ドル円相場は、FOMCや日銀の結果公表を受けて、1ドル=146円に迫っていましたが、為替介入後は、140円台前半と5円超円高ドル安に進みました。その後、再び円安に向かい、10/17の午前10時時点で148円台中盤まで円安が進んでいます。そこで今回は、為替介入を行った背景や今回の為替介入、今後の見通しについてお話しをしたいと思います。

今年に入ってから、ドル円相場は日米の金融政策の方向性の違い等から、年初の1ドル=115円から円安ドル高が進んでいましたが、急激な円安進行を抑制するため、円を買ってドルを売る介入を実施しました。このまま急激に円安が続けば、エネルギーや食品、原材料といった輸入品などの値上がりを通じて、企業活動や暮らしに、さらに悪影響を及ぼしかねないという危機感から24年ぶりの円買いドル売り介入を実施しました。

金融政策の方向性としては、アメリカはインフレ抑制のため政策金利を引上げて、市中に回るお金を抑制しようとしています。対して日本は、金利の上昇を抑制する緩和策を維持しています。10/17現在、同じ年限の国債で比較すると、米国債が4%、日本国債が0.25%となっています。金利差がここまであれば、当然アメリカに資金が集まることから、ドル高に拍車をかけているという状態です。



卓話 永野会員



○今回の円買い・ドル売り介入について

公表資料によりますと、先般の為替介入規模は約2兆8千億円で、1日の介入額としては過去最高となっています。原資は、外貨準備・約1兆3億ドル（約187兆円）のうち、流動性の高い預金1,361億ドル（約19兆円）の取り崩しだったと見られています。但し、円買い介入の原資は日本が準備している外貨準備であることに加え、外貨準備の大半を占める米国債を売却し介入資金にしてしまうと、米国金利の上昇圧力を高め円安を後押しする恐れがありますので、一気に進める事は出来ず、上限を意識した対応となります。一般的に国債を売ると国債の価格が下がります。市場に出回る国債の量が増えますので、供給が多くなります。その点は、モノの価格と同じです。国債は価格が下がると表面金利は上昇しますので、先ほど申し上げた、金

利の上昇圧力に繋がるという事になります。

○今後の見通し

政府は、1ドル=145円程度を防衛ラインとして想定しているようですので、今日の1ドル=148円台へ下落にあっては、再び円買い介入が実施される可能性があります。ただし、先ほど申しましたように、円買い介入には外貨準備の一部しか利用できないという規模の限界があります。また、米国ではインフレ抑制を継続するために、利上げが継続される見込みである一方で、日本は金融緩和政策が維持される見通しであるため、為替介入が実施された場合でも効果は限定的だと考えられます。米国のインフレ圧力の低下や、FRB（連邦準備制度理事会）の利上げ休止に向けた動き、日銀の政策修正といった変化が見られるまでは円安基調が続くと考えられます。

熊本第5グループIM 9月17日(土)

